修学旅行新聞

発行所　財団法人 全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田2丁目8—7（順ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

北海道高校修旅改善協

修学旅行改善策を答申

二つに分ける『見学旅行』と『宿泊研修』

【札幌】高校修学旅行の新しいありかたについて北海道教委（川村秀雄委員長）は北海道高校修学旅行改善協議会（吉村忠善会長＝道立室蘭栄高校長）に対し改善策を諮問していたが、このほど改善の基本方針として〝見学旅行〟と〝宿泊研修〟の二本立てにすることが望ましいと答申した。道教委はこの内容を検討し、できれば四十六年度から実施したい意向である。

寒冷で広大な地域という特殊な北海道では修学旅行本来のねらいがじゅうぶんに生かされておらずさらに実施に当っては経費、安全確保に問題が残るところから改善協議会は基本方針として①修学旅行のもつ個々のねらいを実現するために、これをわけて〝見学旅行〟〝宿泊研修〟とすること②旅程の作成にあたっては課程、学科の特色をじゅうぶん考慮するとともに学校の主体性を強く堅持すること③学校行事の一環であることにかんがみ、とくに経済的理由による不参加者のないよう配慮することをあげている。

これに伴なう改善すべき内容としは、見学旅行では①学習に役立つ重要地を直接訪れ見聞することによって、各教科・科目・特別教育活動などの深化・拡充を図るとともに、豊かな情操の育成に資するなどの目標に沿ったものとすること。②日数は学校所在地出発日から帰着日まで五泊六日以内とすること。③経費は最選宿泊地までの往復運賃および料金（ただし寝台料金を含まない）を除く必要経費について適切な基準を定めること。④道外へ旅行する場合については、大阪以東においてそのねらいがじゅうぶん生かされる範囲内とすること。⑤見学個所については普通教科および専門教科にそれぞれ関連するもののうちから、学習活動にふさわしい対象をおさえ学校の実態に応じて精選すること。

また、宿泊研修は①研修の内容は集団生活・レクリエーションを通じて望ましい人間関係の育成、健康体力の増進、生活習慣の確立などの目標に沿ったものとすること。②日数は二泊三日以内とすること。③経費は必要最少限にとどめること。④宿泊地は道内とし、可能な限り学校もよりの地を選ぶこと。⑤実施の時期は見学旅行実施の前年度とすること。

さらに同協議会は付帯意見として①改善に伴う新しい実施基準の適用は昭和四十六年度からとされたい。②宿泊研修のための指導者養成を図られたい。③実施にあたっては教職員の負担軽減を図られたい。④校内における修学旅行についての研究組織の体制を確立するよう指導されたい。⑤修学旅行関係団体に対し、改善の趣旨についてその徹底化を図るとともに、接遇基準の改善についても強く要請されたいの五項目を付している。

吉村会長の話　現在のところこれ以外の改善策はないと思う。この考え方は全国的にも参考になろう。五泊六日のばあい、関西の古文化財を目的とするなら東京は素通りとなり、逆に東京の産業文化を勉強しようとするなら関西はあきらめねばならぬが、そこは弾力性を持って学校の自主性にまかせたい。一泊減となるので経費は安くなるだろう。

【解説】昨年十二月に諮問を受けた協議会は道内から委員二十名をあげて数回にわたり検討を続けた。答申は北海道という特殊な地域性を考慮に入れたが、全国的にも好参考となろう。見学旅行は五泊六日、従来の基準は八泊九日だったので三泊減、これに宿泊研修の二泊三日を加えても結局一泊減となり、最近の交通費、宿泊費などの高騰を補なうことが出来よう。従来の函館起点八泊九日だと九州方面まで行けたのが大阪止まりとなったのが大きな改正点である。

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。

従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

論点

白馬岳の事故に思う

北アルプスの白馬岳で起きた修学旅行の事故は、われわれに大きな衝撃を与えた。それは従来のように交通機関によるものではなく山岳地帯で発生した特異なケースであったからである。

マンネリ化した修学旅行を打開するため地教委と各学校では真剣な研究を行ない、その一方策としていわゆる観光地を避け大自然に親しませようとする計画がみられるようになり、こんどの神戸高校のばあいもその例であった。

〝観光地を避ける〟ということも生徒集団には自ら限界のあることである。

こんどの事故が発生した地点は白馬沢から約六百㍍も登った〝二号雪渓〟といわれるところで、むしろ高山地帯に近い。すでに十月十一日に初雪をみたが、旅行実施の当日は五月なみの暖かさで十八度もあり、雪渓下部は溶けやすい状態にあったという。ただでさえ変化の多い山岳気象条件に加え、落石やなだれの多いといわれるこの白馬岳に、二百三十四人の集団が大挙して行くこと自体、再考しなければならぬことではないか。

付添教師は生徒に「雪渓には入るな」と注意したというが、これは学校側の弁解としか受け取れない。少くとも旅行にはあらゆる場合の想定が必要でありとくに一種の解放感を伴う修学旅行では予測しない事態が発生しやすいことを考えれば、この種の山岳旅行は根本から練り直すべきである。

白馬岳の雪渓をともらうためにも、われわれはこの命題にたいして真剣に取り組まねばならない。〝観光地は駄目〟〝大自然も危険〟だとして再び無用な「修学旅行無用論」が台頭することをわれわれはおそれる。

北海道高校修旅改善協議会は十月四日、別府市における九州地区を皮切りに中・四国地区を同六日高松市、北陸・東海地区を同八日富山市、東北・北海道地区を同十三日福島市、関東地区を同十五日伊東市でそれぞれ開催、各都道府県の全修協支部長、協力機関の役職員、本部から山本理事長白滝事務局長のほか各部長が出席①修学旅行の改善と向上②四十五年度（第十四回）研修旅行の実施③日本万国博研修旅行の実施などを中心に協議した。

万国博をふくむ研修旅行については総計一万六千四百名を目標とし、その内訳は①万国博コース一万名②北海道一周コース二千二百名③九州一周コース一千名④地区別コース三千名⑤沖縄コース二百名となっている。

本年度は過去三か年間を上回わる成績をあげたあとだけに各ブロックとも本年度は万国博コースをふくめて画期的な会員数を獲得しようとする熱意にあふれていたことが注目される。

各地区別の実施コースは次の通り。（近畿地区は未定）

▽九州地区①万国博②北海道③東北④富士・箱根・伊豆大島⑤木曽路・黒四⑥能登・立山・飛騨⑦沖縄▽中・四国地区①万国博②北海道③東北④富士・箱根・伊豆大島⑤木曽路・黒四⑥能登・立山・飛騨⑦沖縄▽北陸・東海地区①万国博②北海道③東北④四国⑤九州⑥沖縄▽関東地区①万国博②北海道③東北④木曽御岳・黒四⑤能登・立山・飛騨⑥四国⑦九州⑧沖縄▽東北・北海道地区①万国博②北海道③木曽御岳・黒四④能登・立山・飛騨⑤四国⑥九州⑦沖縄（都道府県によっては実施しないコースもある）。

盛り上る万博研修旅行

全修協地区会議終る

財団法人全修協の本年度地区会議は十月四日、別府市における九州地区を皮切りに中・四国地区を同六日高松市、北陸・東海地区を同八日富山市、東北・北海道地区を同十三日福島市、関東地区を同十五日伊東市でそれぞれ開催、各都道府県の全修協支部長、協力機関の役職員、本部から山本理事長白滝事務局長のほか各部長が出席①修学旅行の改善と向上②四十五年度（第十四回）研修旅行の実施③日本万国博

会長に北野勝氏

あおぞら号運営協

【大阪】あおぞら号近畿地区運営協議会は九月二十五日午前十時から大阪市天王寺区のグリル近鉄に新旧会長、常任委員と二十二名のほか全修協山本理事長も出席して協議会を開催、（一）会計報告（二）役員改選（三）四十六年度あおぞら号乗車申込み案、などについて協議した。

本年度の役員は会長に北野勝氏（大阪市立堂島小学校長）常任委員に中林敏一（奈良県吉野郡下市小学校長）久保田市男（大阪府三島郡島本第一小学校長）小西徹男（神戸市立西須磨小学校長）上原義春（近鉄営業企画部長）石川為蔵（全修協大阪支部長）の諸氏を選出、また前会長村川金雄氏は常任委員に委嘱された。

高田氏（理事・北海道支部長）に藍綬褒賞

（財）全修協理事・北海道支部長・高田治郎氏は、多年にわたり地方自治、教育につくした功績によって藍綬褒賞を授与された。十月十三日、午前十一時から自治省で伝達式が行なわれ、午後は皇居で天皇陛下にお目にかかり、ねぎらいのお言葉を受けた。同氏は十四日、全修協本部を訪れ挨拶をしたあと次のように語った。「道内の自治に尽したということで過分な褒賞にあずかり感激している。今後も北海道の教育、社会、産業などあらゆる面で公僕として働きたい」＝関連記事、第三面「横顔」欄に＝

観光標語を募集

山口県観光連盟で

山口県観光連盟では県の後援で同県の観光ギャッチ・フレーズを一般から募集する。応募方法ははがき一枚につき一句（一点）で点数や応募資格に制限はない。締切りは十一月末日（当日の消印有効）で送付先は山口市滝町一ノ一山口県観光課内県観光連盟キャッチ・フレーズ係。発表十二月下旬

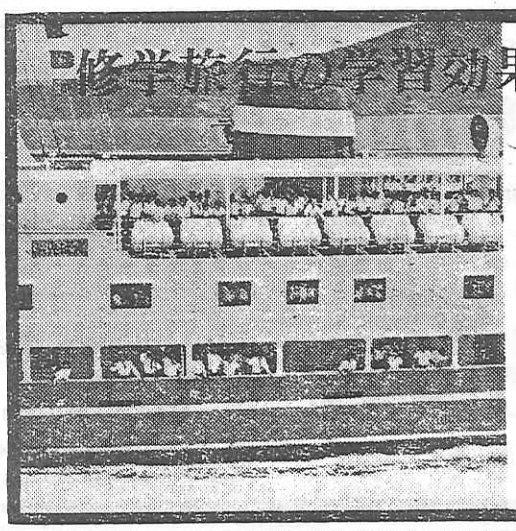
南紀・白浜へ
■眺望絶佳の屋上展望台
■雅趣ある和風の庭園
■百名入れる展望大浴場
白浜観光ホテル
和歌山県白浜温泉
電話（073942）3262

風紋

▼さいきんの交通機関の発達ぶりは驚異だが、とくに私鉄の活躍はまことにめざましい。先ず来年の万国博を前に、近鉄の鳥羽新線（宇治山田—鳥羽間）と志摩線（鳥羽—賢島間）の改良工事が完成するという。これは新しい〝観光路線〟として各方面から注目されている。▼奥志摩は豊かな観光資源を持っているところで、近鉄はここに海洋科学館、水族館、マリン・ランドなど修学旅行や遠足に適した総合的な施設にする計画だが、〝万国博の第二会場〟というキャッチ・フレーズは別としても、伊勢方面へ旅する児童生徒に大きなハイライトとなるわけだ。この近鉄線は難波—賢島間が三時間で結ばれ、さらに京都、名古屋からと奈良—賢島間には特急電車が運転されるという。▼一方、関東では西武鉄道の秩父新線も開通した。いままでの吾野から終点の西武秩父まで十九・一㌔を延長したもので、橋梁三十五か所（千九百六十㍍）トンネル十六か所（七千七百五十㍍）を持つ山岳と渓谷を縫う路線で、池袋から特急八十三分。このなかには私鉄では初めての最長四千八百十二㍍の正丸トンネルも含まれている。▼新設の各駅はスイス風に設計され、いやが上にも山岳ムードを盛りあげ、春のハイキング、秋の紅葉、十二月の秩父夜祭りなど、観光客誘致に大わらわだが、この新線開通によって東京への交通が便利となったことは、産業開発への寄与も大きいし、とくに埼玉県西部地域の児童生徒たちにとって、東京を起点とする修学旅行のルートが非常に短縮された。▼観光ルートの開発はレジャー産業に味方するばかりでなく、修学旅行や遠足の児童生徒たちにとって大きな恩恵を与える結果になったわけで、さいきんの私鉄の事業は一石二鳥の大成功をおさめたというべきか。

充実した修学旅行
ツーリストをお役立てください

ツーリストでは意義ある行事をさらに充実させるために、事前、または事後学習用として"修学旅行映画"シリーズを製作しております。
●修学旅行映画シリーズ
奈良　京都　京都の庭園　富士箱根　日光
大和の国なか　大和の塔　火とみどりの国
瀬戸内海
（いずれも文部省選定、16ミリカラー、上映時間25～40分です）
電子計算機がおてつだいする　ひまわり窓口　「登録第20号」
近畿日本ツーリスト


修学旅行の学習効果向上のために
全船冷暖房完備の修学旅行専用船
わかば丸・ふたば丸
旅客定員805名・1,100トン
●一般客との混乗がありません
●船内での学習や研究ができます
●海・船の社会科研究もできます
楽しい有意義な瀬戸内海の修学旅行を！
関西汽船
●お問合せは…大阪（441）9161
ほか関西汽船各地営業所・各旅行斡旋案内所

修学旅行を考える

修学旅行はマンネリズム化している。規則づくめの学校生活と追いまくられる勉強で鬱積した若いエネルギー発散の場面である。いろいろな教育的な意味づけは、それを正当化するためのこじつけに過ぎない。さなきだに硬直化した交通事情を、さらに拍車をかけるものだ。経費の父兄負担ももう限度を越えている―等々、非難は尽きるところを知らない。

○……

高等学校では、従来のタイプの修学旅行を完全に廃止して、宿泊訓練に切りかえ、その訓練所の周辺の自然や文化施設を、往復の日程の中で見せることにしたところもある。全国どの学校でも、その改善策を考えていないところはないと云ってよいであろう。しかしなかなか、これといううまい案が生み出せないまま、日数を制限したり、経費に限度をつけたり、見学個所をあらためたり、安全対策を綿密にしたりする程度の一部改善で、抜本的な新しいアイデアで実施したというのは案外少ないのが実情といえよう。

○……

わが山形県でも中学校長会の調査研究事項として取上げて、昨年県内中学校の実態調査したが、大同小異であって、殆んどが東京集中といったものである。東北回わりや北海道行きに試みたところも二、三あるが、やはり問題が多いらしい。

○……

いったい、望ましい修学旅行というものは果して考えることができるのか、どうか。前述の程度の改善策を施したものがそれか、その程度で世の批判に堪えられるかどうか、疑問である。

私は何か、全くタイプを変えた新しいものが創り出せないものかと思う。それができなかったら、完全に廃止してしまったらとさえ考える。

○……

今はレジャー・ブームである。修学旅行の見学個所として今まで選ばれたところは、卒業後、生徒達の訪れる機会は何度もあろうというもの。とすれば、あの騒々しい車中、旅館でのふざけることだけが、楽しみということになる。今の生徒たちは神社仏閣などいかに重要文化財などと大人が価値づけしても、いっこうに関心がない。そういうところを回わらなければ修学旅行といえないから、しぶしぶついて歩くだけのものになっているような気がする。東京タワーとか科学博物館、NHK放送センター、羽田空港での混雑ぶりを見ると、本当にどうにかならぬものかと思う。

○……

それで、私ども中学校長会は調査研究の第二年度として、県内各中学校の新発想を歓迎し、事例集としてまとめることにしている。

○……

どんなものが出てくるか、楽しみにしている次第である。（山形市立第一中学校長）

中学校長の意見

修学旅行のマンネリ化が叫ばれてから久しい。指導の衝にあたる各教委や実施側の学校長の真剣な努力にも拘わらず、これといった"決定打"が出ない。修学旅行は学校行事として位置づけられているが、それに付帯する諸条件、例えば輸送機関や宿営の問題も案外大きなウエイトを占めているのが実情だ。改善への手がかりとして本紙では指導主事と中学校長の立場からそれぞれの意見を伺ってみた。

統計と記録に基づく反省資料が必要

大木義夫

修学旅行のマンネリ化が叫ばれてから久しい。指導の衝にあたる各教委や実施側の学校長の真剣な努力にも拘わらず、これといった"決定打"が出ない。修学旅行は学校行事として位置づけられているが、それに付帯する諸条件、例えば輸送機関や宿営の問題も案外大きなウエイトを占めているのが実情だ。改善への手がかりとして本紙では指導主事と中学校長の立場からそれぞれの意見を伺ってみた。

一、修学旅行の立案計画が引率教員や関係学年だけにゆだねられていないか。学校における一大行事だけに学校教育計画全体の中で吟味されなければならないであろう。

二、事前研修はじゅうぶんなされているか。修学旅行の成否は事前研修の如何にかかっているといっても過言ではない。建築物、彫刻などのもつ歴史的意義、芸術的観点を事前に研究させておけば、生徒の見る目や心がまえも自然と変わってくるであろう。歴史、地理、芸術など教室で学んだことを実地に見学してくるという修学旅行本来の目的がじゅうぶん生かされなければならないであろう。

三、実施中における集団行動や生活態度に問題はないか。ともすると旅の解放感から、事故を起しやすいものである。団体行動の規律や公衆道徳を実践的に学びとらせる機会として、積極的に生かしてほしいものである。

四、安全管理の面に遺漏はないか。バスを夜間や早朝に利用したり、長時間継続利用することは避けなければならない。また、宿泊を伴うときは、宿泊地の環境や宿泊施設についてじゅうぶん検討しておく必要があろう。とくに非常の場合を考慮して、宿営の非常口を確認させ、避難方法を考えさせておくことも欠かせないことである。

○……

五、生徒の疲労の面が考慮されているか。修学旅行の計画が一般に盛沢山すぎる傾向にある。できるだけ多く見せてやりたいのは人情であるが、生徒に疲労しか残らなかったということにならぬよう目的地を精選し、ゆっくり時間をかけて見学させることが望ましい。

六、反省や評価がじゅうぶんなされているか。無事終了ということで反省会が職員の慰労の反省会に終っていないだろうか。生徒、職員からアンケートを取り、統計にもとづいた反省資料をつくり、来年度のための反省記録を残しておくことが望ましい。（埼玉県教育委員会指導主事）

指導主事の意見

本年度の夏期教職員研修旅行は過去三年を上回わる好成績で終了した。すでに回を重ねること十三回、わが教育界にすっかり根を下ろし、年中行事として教職員から期待がかけられている。全修協本部では毎年実施に際しコースごとに参加者からアンケートを求めているが、このほど本年度の結果がまとまった。それによると本年の十八コースはいずれも好評で、なかには今後の改善に役立つ貴重な意見も多くみられた。

北海道コース

一、輸送（一）列車　○乗り継ぎの関係と思われるが、時間待ちの場所や時間にもう少し工夫を。（二）バス　○バスは一日ごとに交換してほしい。（劣るガイドに固定されることあり）○道南バスのガイドは一般に悪い。言語などの指導が必要である。（三）船　○連絡船に乗船する際の待時間が長すぎる。（四）その他　○帰路を飛行機にするほうがよい。○遠隔地のため集合解散地から列車の指定券の配慮がほしい。

二、旅館　○一部屋の人数が多すぎる。○特によかった旅館「ホテル大雪」「旅館ひふみ」「香取」特に悪かった旅館は「花びしホテル」「泉陽閣」「北一館」「川湯第一ホテル」「湯の閣ホテル」

三、昼食　○特に良かったもの「長万部カニ弁当」、「連絡船の爺めし」。特に悪かったもの「新幹線のトリ弁当」。「吉田屋」「白老」「登別」

四、見学地　○見学時間をもう少し長くしてほしい。○自由時間を多くして自分たちの足で確かめる時間がほしい。

五、講演　○講演のあとで質問の時間を設けてほしい。○白老小での講演はよい。アイヌの児童教育などについての具体的な話がほしい。

六、医療団　○標識は見やすいように。○薬品などもっと豊富に準備してほしい。

七、添乗員　○日程などは早目に連絡してほしい。○マイクは性能のよいものを使うこと。

九州コース

一、輸送　（一）列車　○発車時刻の変更はまずい。（二）バス　席の交替を厳守すること。（三）船　乗船までの待時間が長い。（四）その他　東北は一団として往復とも輸送してほしい。

二、旅館　（一）全般　○特によいのは指宿温上ホテル、橘ホテル（青島）矢太楼（長崎）○特に悪いのは平野屋（湯の児）阿蘇の司（内牧）玉泉荘（湯の児）（二）食事　特によいのは矢太楼、橘ホテル、指宿温上ホテル、矢太楼。○特に悪いのは阿蘇の司。（三）設備　○特によいのは指宿温上ホテル、橘ホテル、矢太楼。特に悪いのは阿蘇の司、平野屋。（四）サービス　○特によいのは阿蘇の司、ほかは普通

三、昼食（弁当）○特によいのは延岡のかまめし、島原フェリーボート内。特に悪いのは都城。（注）ドライブインの昼食に果物の希望が多い。また時々パン食、麺類の希望もあった。

四、見学地　○長崎、熊本城では見学時間が短かすぎた。○一般的に強行軍すぎる。もう少し余裕がほしい。

五、講演　○阿蘇における熊本大学岩本先生の講演は具体的で要領をつかみ理解しやすかった。

六、医療班　○所在をはっきりしてほしい。赤十字のマークをつけること。

七、添乗員　○第一団＝大部隊を動かすことのできるしっかりしたリーダーとなる年配者が一人ほしい。○第二団＝マイクが悪く伝達が不徹底だった。

八、その他　○一団の人数が多すぎるのでスムースに行動できない。二百人位、バスなら四台位がよい。○旅館の部屋割は男女別、部屋の良否の交替、グループの事を考慮に入れてほしい。○詳細な日程表は出発前に自宅へ送ってほしい。

黒四・乗鞍コース

○バスの冷房故障は困った。事前の車の整備は完全に。○上諏訪の「成田屋」は良く、上高地の「上高地温泉ホテル」は悪かった。

○史跡などの見学地をもう少し入れてほしい。○信州では一度ぐらいソバを昼食にしてほしかった。○講演はもう少し内容の堀りさげたものを希望する。

東北コース

○現地に明るいバスを利用してほしい。○中尊寺ではもう少し時間がほしかった。○東北の夏祭りに合わせて実施してほしい。○ストン・サークルの見学を入れてほしい。○八郎潟についてのくわしい説明を希望する。

尾瀬・日光コース

○参加者は若い人を選ぶこと。○尾瀬が原、華厳滝、中禅寺では時間が少なかった。○講演は時間がなく残念だった。

能登・立山・飛騨路コース

○バス座席の割当ては計画的にやってほしい。○バスの冷房は故障が多い。○小木温泉「百楽荘」と名倉の「銀水閣」がよかった。○高山、乗六公園、能登金剛島めぐりの見学時間が短かった。○郷土芸能を加えてほしい。○立山での説明不十分。○高山植物についてくわしい話がききたかった。○立山、高山の郷土館などでは時間を長くし、もう少し詳しく説明してほしい。○旅館での女風呂は人数の割に狭くて困った。女子の多い場合は女子を大浴場に入れること。○参加者の名簿がほしい。

伊勢・志摩コース

○見学時間が少く、最後尾のバスは単に乗り降りするのみ。○一乗院の修養談はよかった。○伊勢ではもっと時間がほしかった。○バス座席の取り合いは感じが悪い

飛騨・大和路コース

○せっかく各地から参加したのだから懇親会を開いて話し合いたい。○寺等の見学時間が短かすぎた。○特によい宿は吉野の竹林院群芳園。

奄美・徳之島コース

○往路も飛行機を利用したい。○鹿児島、奄美間の船は一等にしてほしい。地方の民家の特色、地理的歴史的にまだ見学したいものがたくさんあった。○日本の最南端与論島まで行きたかった。

富士・箱根・伊豆大島コース

○福岡を夜行寝台にして直接熱海に着くようにしてほしい。○修善寺の「ホテルみゆき」は特によく、河口湖の「ホテル水明荘」は悪い。○見学地を詳細に見せてほしい。○携帯マイクを持参せよ。

佐渡・蟹梯コース

○船は高くついても一等がよい。○バス乗車の方法は不公平のないように。○佐渡金鉱博物館、鶴ヶ城の見学時間が少なかった。○旅館は一二楽荘」がよく「原滝旅館」が悪かった。○希望者には民謡などの手ほどきをしてほしかった。

沖縄コース

○船旅三泊は苦しかった。○往復とも飛行機を希望する。○昼間（午後五時頃からでもよい）自由時間がほしかった。

香港・台湾コース、山陰コースは省略。

新しい発想と斬新な企画を期待する

大武重雄

修学旅行の見学個所として今までもっぱらとりあげられてきたところは、どうしてもあまりにも古くさい感じがする。ことに、修学旅行の見学個所としてはもっとも重要な意味をもつ歴史的な建築物、彫刻などのもつ歴史的意義、芸術的観点を事前に研究させておけば、生徒の見る目や心がまえも自然と変わってくるであろう。歴史、地理、芸術など教室で学んだことを実地に見学してくるという修学旅行本来の目的がじゅうぶん生かされるであろう。

一、修学旅行の立案計画が引率教員や関係学年だけにゆだねられていないか。学校における一大行事だけに学校教育計画全体の中で吟味されなければならないであろう。

二、事前研修はじゅうぶんなされているか。修学旅行の成否は事前研修の如何にかかっているといっても過言ではない。建築物、彫刻などのもつ歴史的意義、芸術的観点を事前に研究させておけば、生徒の見る目や心がまえも自然と変わってくるであろう。歴史、地理、芸術など教室で学んだことを実地に見学してくるという修学旅行本来の目的がじゅうぶん生かされるであろう。

三、実施中における集団行動や生活態度に問題はないか。ともすると旅の解放感から、事故を起しやすいものである。団体行動の規律や公衆道徳を実践的に学びとらせる機会として、積極的に生かしてほしいものである。

四、安全管理の面に遺漏はないか。バスを夜間や早朝に利用したり、長時間継続利用することは避けなければならない。また、宿泊を伴うときは、宿泊地の環境や宿泊施設についてじゅうぶん検討しておく必要があろう。とくに非常の場合を考慮して、宿営の非常口を確認させ、避難方法を考えさせておくことも欠かせないことである。

○……

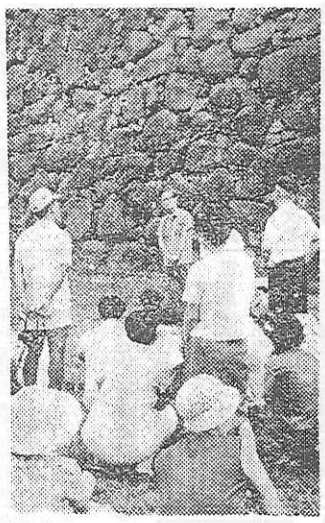
五、生徒の疲労の面が考慮されているか。修学旅行の計画が一般に盛沢山すぎる傾向にある。できるだけ多く見せてやりたいのは人情であるが、生徒に疲労しか残らなかったということにならぬよう目的地を精選し、ゆっくり時間をかけて見学させることが望ましい。

六、反省や評価がじゅうぶんなされているか。無事終了ということで反省会が職員の慰労の反省会に終っていないだろうか。生徒、職員からアンケートを取り、統計にもとづいた反省資料をつくり、来年度のための反省記録を残しておくことが望ましい。（埼玉県教育委員会指導主事）

好評の"現地講演"

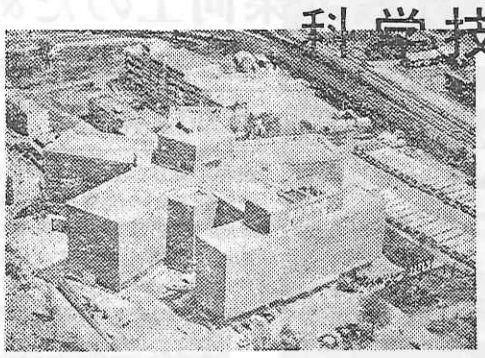
本年度の研修旅行

会員のアンケートから



100万人の修学旅行コース　★　★　★　★

科学技術館



修学旅行の教育的意義を高めるためにも、ぜひ科学技術館をコースにおいれください。

● 冷暖房・団体休憩室（400名）・食堂（300名）完備
● 無料大駐車場（大型バス50台）

お問合せ…東京都千代田区北の丸公園　科学技術館業務部　TEL東京(03)212－8471

★地下鉄（東西線）：竹橋下車　★日本武道館となり　（代表）

九州・別府への修学旅行に……

客室77／収容人員1200／学習用資料展示の学術館／バス80台・乗用車 200台駐車可能／遊戯施設など完備

<鶴見園レジャー・センター併設>

鶴見園観光ホテル

別府市南立石2152―1
電話 0977（3）3221
大阪案内所　大阪市旭区赤川町1―69　電話 06（922）2002
東京案内所　東京都千代田区神田錦町3―6　電話 03（256）4606